

情報公開文書

研究課題名	<p>JALSG 参加施設において新規に発症した全 AML、全 MDS、全 CMML 症例に対して施行された治療方法と患者側因子が 5 年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究（前向き臨床観察研究） JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study (JALSG-CS)-17</p>
研究体制	<p><input type="checkbox"/>長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/>他施設が責任研究機関となる共同研究 （責任研究機関： 東北大学病院 血液内科 ）</p>
研究責任者	<p>責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>横山 寿行</u> 当 院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>住 昌彦</u></p>
研究期間	承認日 ～ 2028 年 2 月
研究の概要	<p>（研究の目的） 急性骨髄性白血病(AML)、骨髄異形成症候群(MDS)、慢性骨髄単球性白血病（CMML）の 5 年生存率を明らかにし、合併症及び用いられた治療内容が生存率に及ぼす影響について検討を行います。本研究により得られた情報は、今後の治療方法改善に向けた取り組みに利用します。</p> <p>（研究方法） 全ての対象患者さんを連続的に登録し治療開始時の合併症、治療内容、予後を調査します。治療に関する介入はなく、人体試料の採取もありません。これらの情報を元に、統計学的手法を用いて、生存に影響を及ぼす因子について長崎大学で解析を行います。</p> <p>（研究に用いる試料・情報の種類） 当院が提供する情報はイニシャル、生年月日、年齢、性別、診断病名、診断日、診断時採血検査データ、骨髄検査データ、診断時染色体データ、治療開始前併存症、治療方法、同種造血幹細胞移植に関するデータ、治療効果、予後、再発の有無などです。収集された情報は、個人情報が出ないよう匿名化され、暗号化されたインターネット通信により日本成人白血病治療共同研究グループ（JALSG）データセンターに送付、保存されます。JALSG データセンターに収集された情報は、パスワード保護されたサーバー上に匿名化された情報として保管されます。その管理は個人情報の取り扱いに準じて行われています。また必要な場合は、治療を行っている施設においてのみ匿名化された情報から個人が識別できるようになっていますが、その照合を行う方法は外部に漏れることのないよう厳重に保管されます。</p>
研究対象者	<p>当院で新たに診断された、16 歳以上の全ての AML、MDS、CMML 患者さんが対象となります。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、</p>

	個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目2番1号 長野赤十字病院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>住 昌彦</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439